

令和7年7月1日

報道機関各位

こども家庭部県民活躍推進課

2025年度 ニッセイ財団贈呈式について

このことについて、下記のとおり執り行われますので、取材についてよろしくお願いします。

記

- 1 開催日時 令和7年7月3日（木） 13：30～14：10
- 2 開催場所 アピオあおもり 2階 イベントホール
（住所：青森市中央3丁目17-1 電話：017-732-1010）
- 3 出席者 ニッセイ財団関係者、受贈7団体、県関係者（奥田副知事含む）
- 4 受贈団体及び内容 別添資料のとおり

報道機関用提供資料		
担当課	こども家庭部 県民活躍推進課	
担当者	青少年グループ GM 櫻庭 知美	
電話番号	直通	017-734-9226
	内線	4372
報道監	こども家庭部 次長	大山 和也

2025 年度 ニッセイ財団 贈呈式

日 時 令和7年7月3日(木)

13:30～14:10

場 所 アピオあおもり

2階イベントホール

次 第

1 開 会

2 関係者紹介

3 ニッセイ財団あいさつ 公益財団法人 日本生命財団
代表理事 専務理事 事務局長 水 野 充 彦

4 青森県あいさつ 青森県副知事 奥 田 忠 雄

5 目録贈呈 日本生命保険相互会社 青森支社
支社長 緒 方 雄 二

6 受贈者代表謝辞 青森WEST JBC
監 督 白 鳥 悟

7 閉 会

司会：日本生命保険相互会社 青森支社

支社次長 林 一樹

※閉会后、記念写真を撮影します。

※贈呈式終了後、アピオあおもり内で懇談会(情報交換)を開催します。(14:10～14:40)

2025 ニッセイ財団 「児童・少年の健全育成助成」 受贈団体の概要

※記載内容は申請書類から抜粋

受贈団体名（市町村名）	中居林子供えんぶり組（八戸市）
代表者氏名・会員数	代表者：田村 美雪 【会員数：35 名】
主な活動内容	1984 年 2 月に設立。地域の伝統文化を守り伝える活動をしており、母校やふるさとへの愛着を育んでいる。メンバーは友達と協力し、お互いの長所を学びながら自己成長を促進しており、保護者による運営のもとで週 2 回の練習を通じて地域からの指導を受けている。
助成物品	えんぶり道具・楽器一式

受贈団体名（市町村名）	青森WEST JBC（青森市）
代表者氏名・会員数	代表者：高坂 洋輔 【会員数：26 名】
主な活動内容	2023 年 9 月に設立。中学部活動の地域移行に伴い、その受け皿としての役割を担っている。野球を通した人間形成を目指し、①全力②行動力③人間力④感謝の 4 つをスローガンに掲げ、地域と連携しながら活動している。今後は、地域ねぶたや地域企業との連携なども計画している。
助成物品	野球用具一式

受贈団体名（市町村名）	江陽スポーツ少年団（八戸市）
代表者氏名・会員数	代表者：清川 梓 【会員数：21 名】
主な活動内容	2005 年 4 月に設立。ミニバスケットボールを通じて心身を鍛えることを目指して活動している。また、スポーツ少年団の理念に基づき、スポーツを楽しむだけでなく、協調性や創造性を育むため、地域の奉仕活動やマラソン大会などにも積極的に参加している。
助成物品	バスケットボール用具一式

受贈団体名（市町村名）	青森市フェンシングクラブ（青森市）
代表者氏名・会員数	代表者：鳴海 貢 【会員数：19 名】
主な活動内容	2017 年 6 月、少子高齢化が進み、フェンシング熱が冷めてしまった今別町を元気づけるため、青森市内に住む今別町出身者たちがジュニアクラブを設立。今別町と青森市内の子ども達が合同練習や合宿を通して交流を深め、仲間意識やお互いを尊重し思いやる力を育んでいる。
助成物品	フェンシング用具一式

受贈団体名（市町村名）	鯨ヶ沢三味線クラブ（鯨ヶ沢町）
代表者氏名・会員数	代表者：木村 真弓 【会員数：14 名】
主な活動内容	仲間作りと津軽民謡（三味線、唄、太鼓、踊り）を通じての郷土芸能の保存と伝承を目的として、2020 年 3 月に設立。伝承活動やイベント実施によって、津軽民謡を通じた地域の方々との交流を深め、ふるさとづくりや地域の活性化につなげている。
助成物品	三味線一式

受贈団体名（市町村名）	特定非営利活動法人 学びどき（南部町）
代表者氏名・会員数	代表者：根市 大樹 【会員数：54名】
主な活動内容	2020年6月に設立。地域の子どもたちに対し探究・体験学習を実施したり、子ども食堂での健康サポートを行ったりしている。地域の大人や企業の協力を得て、オンライン留学体験や外国語会話、プログラミングなど、子どもたちの学習機会をさらに増やすことを考え活動している。
助成物品	パソコン・タブレット・VRゴーグル一式

計6団体

2025 ニッセイ財団 「生き生きシニア活動顕彰」受贈団体の概要

※記載内容は申請書類から抜粋

受贈団体名（市町村名）	あおば自治会 みんなの居場所語り場（弘前市）
代表者氏名・会員数	代表者：伴 孝男 【会員数：30名】
主な活動内容	健康増進活動 高齢者の孤立防止と健康増進を目的に、令和5年6月から「健康づくり教室」を始め、令和6年4月には「みんなの居場所語り場」を開設した。青森県社会福祉協議会のサポートを受けながら、月3回の健康づくり教室や相談会を通じて健康に関する交流の場を提供し、運営スタッフが高齢者の健康増進に尽力している。

受贈団体名（市町村名）	馬門自治会みんなの居場所（野辺地町）
代表者氏名・会員数	代表者：柴崎 民生 【会員数：15名】
主な活動内容	高齢者の居場所（サロン）づくり 平成27年度から高齢者の居場所として「お茶会」を月1回開催している。替え歌や民謡を歌う、筋力アップ体操、認知症予防体操、「おしゃべりタイム」などをとおして、体や脳を鍛えながら、笑顔あふれる居場所づくりを進めている。

計2団体